

化石燃料の使用と 地球温暖化

電気電子工学科

日野孝俊

吉岡将希

テーマ設定の理由

地球温暖化を促進させている温室効果ガスの一つである二酸化炭素の排出を減らすために何ができるか調べたかったから。

現状

- 日本の発電方法の75%が火力発電
- 日本では一年で約11億トン二酸化炭素を排出
- 日本の75%がガソリン車

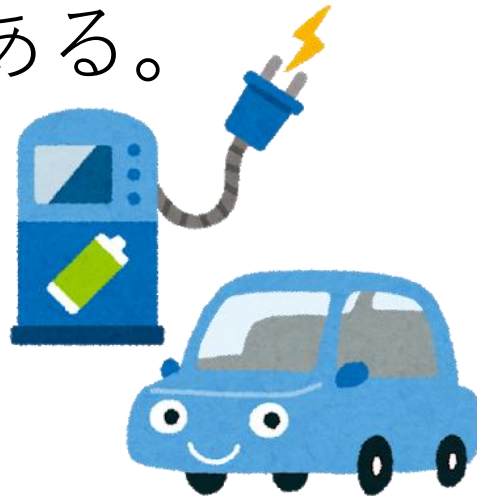


問題点

- 火力発電を行うことで温室効果ガスを排出し、地球温暖化を進行させてしまっている。
- 火力発電に頼りすぎてしまっていて火力発電をやめたときに電力が足りなくなる。
- ガソリン車からも多くの温室効果ガスを排出してしまっている。

課題

- 化石燃料を使った発電方法に頼らず、自然エネルギーを使った発電方法を行う必要がある。
- 発電以外でも二酸化炭素排出を抑えるために、自動車をガソリン車から電気自動車や燃料電池自動車に変えていく必要がある。



10代からの提言

- 発電会社が火力発電を減らし、風力、地熱などの発電所を増やしていけばよい。
- 自動車メーカーが自動車の販売をガソリン車から電気自動車などの化石燃料を使用しない自動車に変えていけばよい。

考察・感想

今回の調べ学習では、主に地球温暖化についてのことを調べて、普段から人々がどれだけ地球温暖化を進めているかをよく考えられたし、地球温暖化をとめるためにどのようなことをすればいいかを詳しく考えられた。